

# 特種用途自動車（トイレカー）4WD 650～660cc ガソリン車 仕様書

## 1 趣 旨

本仕様は、焼津市(以下「市」という。)が移動可能な車両型トイレとして災害時において、避難所などのトイレ環境を改善するために購入するトイレカーの仕様に関し必要な事項を定める。

## 2 品名及び数量

トイレカー 1 台

軽貨物車(軽トラック)をベース車両（シャーシ）として、内装部を水洗式のトイレルームとしたシェルを架装し、利用に必要な資機材等を積載、装備するもの。

ベース車両及び架装の規格は5に記載のとおりとする。

## 3 架装の条件

(1) 移動が可能な車両型トイレとして製作するもので、その製作に使用する材質は、JIS 規格及び糞尿車登録に係る各規格に基づき精選されたものを使用すること。

(2) ベース車両にトイレルーム装備を架装すると共に、利用に必要な資機材等を積載、装備するものであること。

## 4 適用基準等

製作は本仕様書に基づくほか、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）及び道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に適合し、8ナンバー糞尿車登録時の検査に適合するものであること。

## 5 規格

### (1) ベース車両（シャーシ）

①	全体構造	製造年	令和7年度又は令和8年度に製造された車両であること。
②		型式	トイレカーに用いることができる軽貨物車であること。
③		車体の形状	シングルキャブ
④		使用燃料	ガソリン
⑤		車両寸法(架装込み)	全長 3,900 mm以下
			全幅 1,800 mm以下
			全高 2,800 mm以下
⑥		ホイールベース	1,900 mm以上
⑦		駆動方式	4WD
⑧		変速装置	AT 又は AT に準ずるもの
⑨		総排気量	650～660cc
⑩		最大積載量	250 キロ以上、または汚物 250L 以上を積載できる状態で走行できること。
⑪		最高出力	35Kw(48PS)／5,500rpm 以上
⑫		乗車人員	2 名
⑬		塗装色	白
⑭	電装関係	ア バッテリー	車両走行用とトイレ部分用（サブバッテリー）の2系統とすること。
⑮		イ サブバッテリー	①サブバッテリーは、走行による充電（DC12V）、外部電源を利用した充電（AC100V）及び架装部天面に取り付けるソーラーパネルからの充電が行える構造とすること。 ②バッテリー収納は、点検が容易にできる位置に取り付けること。 ③バッテリー受け台には、耐酸処理を施すこと。 ④バッテリー容量は 100Ah 以上とすること。
⑯		ウ 電装関係その他	電気機器類等には、雨水や洗浄に耐えられる防水処理を施すこと。
⑰	鍵		ベース車両純正の鍵とすること。
⑱	燃料タンク		給油口付近に給油燃料名を表示すること。
⑲	素材		耐久性、耐食性に優れたものであること。
⑳	架装固定方法		ベース車両のフレームに架装上の構造物及び枠組取付台等を取り付ける場合は、弛緩しない方法とすること。
㉑	安全装置		ABS 装置を装備していること。
㉒	前輪・後輪		架装の重量に耐えることが出来るものを取り付けること。
㉓	寒冷地仕様		気温がマイナス10 度以下になるような寒さの厳しい環境でも走行・使用できること。
㉔	装備品		別表 1～17 のとおりとする。

(2) 架装

①	架装全般	架装の形態	室内のレイアウトは別図のとおりとする。
②		素材等	ボディ部分はFRP製とすること。
③			ボルト、ナット等は、原則としてステンレス製の物を使用すること。
④			扉に使用する蝶番、ネジ類はステンレス製を使用すること。
⑤		昇降補助	各トイレ個室に対して1つずつ、ステップ又は昇降用階段を設置すること。
⑥			ステップ又は昇降用階段には、滑り止め処置を施すこと。
⑦			入口部には手すりを取り付けること。
⑧		防水処理	パネル部の開口部にはコーキング加工を施すこと。
⑨			室内床には防水加工を施し、水抜き穴を設けること。
⑩	トイレ室内及び便器	個室の形態	トイレ個室は、壁で完全に仕切られ、それぞれに専用の出入り口を設けた2室とすること。
⑪		個室の設備	各個室それぞれに、内扉（又はカーテン）、水洗式洋式便器、手洗い場、鏡、換気設備（天井部）、照明装置（LED）、小物置き場、サニタリーボックス、非常用呼出ボタン、及び衣類掛け等のフック又は荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）を設けること。
⑫			個室の入口には、施錠機能を設けること。
⑬		便器・便座	便器は水洗式とし、臭い逆流防止機能（フラッパー機能）を設けること。
⑭			便座は、温水洗浄機能を有すること。
⑮			便座付近には、手すり、トイレットペーパーホルダー、擬音装置及び除菌液ホルダーを設置すること。
⑯	タンク、ポンプ及び配管	貯水タンク（トイレ水洗及び手洗い用）	70L以上のFRP製貯水タンクを装備すること。※残量低下及び満杯を確認できる機能を設けること。
⑰			貯水タンクへ給水できる給水口及び強制排水口を設けること。
⑱			トイレ設備へ送水するための送水ポンプ1基を装備すること。
⑲		便槽タンク（汚水等一時蓄積用）	250L以上のFRP製便槽タンクを装備すること。※残量低下及び満杯を確認できる機能を設けること。
⑳			便槽タンク内の汚水処理用の汲取り口を設けること。
㉑			緊急時にも汚水等が排水可能な強制排出口（ドレンホース）を設けること。
㉒		配管類	配管は可能な限り外部に露出しないよう施工すること。
㉓			配管が凍結しないよう電気式のヒーターを設けること。
㉔			上記のほか、トイレ等の使用に必要な配管類を設けること。
㉕	ソーラーパネル	天面に100W以上のソーラーパネルを設置し、(1)ベース車両（シャーシ）⑭のとおり使用できるようにすること。	
㉖	基本塗装	架装部の基本塗装は白とし、素材への塗装が必要な場合は、別記塗装要領によるものとする。	
㉗	デザイン	デザインについて市と協議を行ったうえで、天面を除く架装部の3面にラッピングを施すこと。なお、ラッピングについては、文字とイラスト	

		を用いたデザインとし、ステッカータイプ等の張り替えが容易なもので実施すること。
⑳	装備品	別表 18 のとおりとする。

### 《別記》塗装要領

外板部に塗装を行う場合は、素地面を滑らかに研ぎ、油分を拭き取った後、以下によること。

ア プライマー塗り後、凹凸のある部分はパテ付けを行い、研磨を行うこと。

イ サフェーサー塗り後、研磨を行うこと。

## 6 参考商品

品名…株式会社赤尾自走式仮設水洗トイレカー AK-TC01

ただし、荷室内装等詳細は本仕様書に準拠するものとする。

## 7 製作図書

受注者は、製作に先立ち、次に掲げる書類を2部提出して、本市の承認を受けるものとする。

- (1) 架装設計図
- (2) 給排水タンク関係図及び配管図
- (3) 電気配線図
- (4) 製作工程表
- (5) シャーシ及びエンジン諸元表（メーカーのカタログ等）
- (6) 寸法入りベース車両図面（メーカーのカタログ等）
- (7) 入札時の金額詳細内訳表

## 8 完成図書

受注者は、納入にあたって、次の図書を2部市に提出すること。

- (1) 完了報告書（官公庁への提出書類、記録写真添付のこと）
- (2) 自動車検査証、自動車損害賠償責任保険証明書の写し
- (3) 装備品及び付属品一覧表
- (4) 車両、積載品等の取扱い説明書及び積載品の保証書
- (5) その他本市で指示するもの。

## 9 検査

検査は中間検査及び完成検査を行う。

### (1) 中間検査

ア 中間検査は、製作工場において、仕様書及び製作仕様書（製作図書）等に基づき行う。また、各搭載機器の動作試験を行う。

イ 検査には、市職員並びに受注者の検査担当者及び営業担当者が立ち会う。

ウ 検査日程については、市と協議のうえ、検査の希望日の一か月前までに検査依頼書を市に提出すること。

### (2) 完成検査

ア 完成検査は、納入時に性能検査及び付属品等の検査を仕様書、製作仕様書（製作図書）、中間検査時の指導項目に基づき行う。

イ その他、市又は受注者が必要と認めたときに行う。

ウ 検査には、市職員並びに受注者の検査担当者及び営業担当者が立ち会う。

エ 検査日程については、市と協議のうえ、検査の希望日の一か月前までに検査依頼書を市に提出すること。

(3) 検査は本市の指示に従って受けること。

## 10 車両の新規登録

納車前に車両新規登録に伴う全ての事務手続きを行い、初度登録検査に合格した後納車すること。

## 11 納車時の点検整備

納車に際しては架装、装備等について十分点検整備を実施しておくこと。

## 12 納入

(1) 本車両の納入は、中間検査及び完成検査における不備などの指摘事項を改善した状態で納入すること。

(2) 納入期限は、令和9年3月26日（金）までとする。なお、納車日程の調整等に当たっては、本市と十分協議すること。※可能な限り早く納車すること。

(3) 納入場所は下記のとおりとする。

納入場所	数量	所在地	連絡先
焼津市消防防災センター	1台	静岡県焼津市石津1丁目6-1	054-623-2554

## 13 保証等

(1) 車両の保証期間は納車・検査完了日から起算して1年間とする。但し、設計・製作方法及び材料不良等に起因する問題が生じた場合には、保証期間終了後でも無償で受注者が全て修理等を行うものとする。

(2) 保証期間中に車両及び資機材に故障等が発生し、本市から連絡を受けたときは、直ちに技術者等を派遣し、運用可能な状態とすること。

## 14 その他

(1) 完成車両の回送費用、試験（走行、艀装物の動作確認）及び技術指導（納車時の取扱説明）等に関する費用については全て受注者が負担すること。

(2) 架装及び車両の移動にあたっては事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合は速やかに本市に連絡をするとともに、その被害について一切の責任を受注者が負うこと。

(3) 車両納車時に各設備の予備の鍵を2本ずつ納入すること。

## 15 留意事項

(1) 入札金額には、消費税及び地方消費税は除くこと。契約時に入札金額（入札価格に含まれる非課税分を除く。）に消費税を加算する（ただし、1円未満の端数は切捨てとする。）。

落札業者は、落札内訳表を作成し、本体価格や検査届け出手数料等課税対象となる部分、預かり法定費用やリサイクル預託金等非課税となる部分を明記し、消費税及び地方消費税を加えた金額で、落札後5日以内に提出すること。

- (2) 新車登録手続きに要する費用、指定場所までの納入に要する一切の経費は、入札金額に含めること。
- (3) 自動車重量税、自動車損害賠償責任保険保険料（13 ヶ月分）は入札金額に含めず、別途請求すること。
- (4) 仕様に変更の必要が認められたときは、直ちに市に連絡し、その指示を受けた後、速やかに変更後の図面等関係資料を提出し、製作にあたり疑義が生じないようにすること。
- (5) 本仕様書は、基本的事項を記載したものであり、記載のない事項であっても運用上具備しなければならない事項、及び社会通念上必要とされた事項についても全て充足するものとする。
- (6) その他不明な点は本市の指示を得ること。

## 16 連絡先

防災部地域防災課 防災対策担当：鈴木  
電話：054-623-2554 FAX：054-625-0132